臺灣日日新報 夕刊
四月十四日
夕刊定價一部二錢
發行兼編輯人 江口 … 發行所 臺北市榮町四丁目 臺灣日日新報社
臺中支局 臺南支局 高雄支局 花蓮港支局 大阪支社 東京支社

專賣特許 セロリ(?) 一袋十三錢 石鹸みがき粉 北台 藤田本店

歴史的日ソ中立條約

日ソ誠意の確認

相互に友好を宣言

【東京發同盟】十三日ソ間に締結された中立條約といふのは一般に不可侵條約に比してその間に距離があるが、かかる條約は相互援助條約と同様のカテゴリーに入るものであつて、相互に友好を宣言するものである。…不可侵條約に依つて代替されてゐる。日本としては勿論かかる條約を他國と締結したことは未だ曾つてなく、過去に存在した條約としては英國との間に結んだ攻守同盟が最も顯著なものであるが、現に効力を有するものは昨年九月締結の日獨伊三國同盟である

一段と進む日ソ友好

訪歐使命果す外相談

【モスクワ十三日發同盟】日ソ中立條約調印を終つた松岡外相は…して次の如き談話を發表した
日ソ中立條約に關する雙方の意見が一致して本日私の出發前ク…レムリン宮で我々の間に調印を終へたことは、この間に於いて一段と日ソ間に友好と隣接の關係が醸成されることを信じて疑はないと云ふ事である、兩國はこの中立條約を締結するに至つた相互の精神に基いて將來も日ソ間の懸案を處理すべきものであり又さうなるであらうことを疑はない、これで大體私の歐洲訪問の使命は果したと思ふ、又訪問の意義も空しくなかつたと思ふ

世界史的重大意義

獨逸歡迎

【ベルリン十三日發同盟】日ソ中立條約の成立に就きドイツ側では日ソ關係の調整は年來から…所であり又松岡外相の訪歐に際しても事前に十分連絡があつたので…

歴史的な調印式

【モスクワ十四日同盟岡村特派員發】歴史的日ソ國交調整は遂に成つた、十三日午後二時クレムリン宮に於いて日本外交史上の劃期的記錄が打立られたのだ、松岡外相はレニングラードに遊ぶ等悠々たる旅日程を示し乍ら三次に亙るモロトフ外務人民委員との會見に於いて次第に問題の核心に觸れて遂に十二日のスターリン、松岡會見に於いて歴史的協定の締結に邁進したのだ、會見を終了して松岡外相は何事も無かつた様な顔で九時過ぎ悠然と歌舞伎座ボックスに現はれチエホフの三人の姉妹を觀劇して居たが、この間にソ聯外務人民委員部の一室では阪本事務局長、西公使、宮川參事官、齋藤書記官、國岡二等書記官がヴイシンスキー外務人民委員部次長、ロゾフスキー同次長、ツアラプキン極東部長、ペフロフ條約局長等と密かにテーブルを圍んで成文の作成に取掛り、深更に到つて漸く出來上つた、次いでスペイン公使阪本事務局長等は松岡外相にこれを報告、更に本文の條約文整理にかかり阪本事務局長等が寢に就いたのは北歐の空白む午前四時過ぎであつた、明くれば十三日、愈々歴史的調印の日だ、松岡外相は建川大使と最後の打合せを遂げた後、午後二時四十五分建川大使と共に阪本事務局長、宮川參事官、齋藤書記官、加瀬秘書官、山岡陸軍武官、山口海軍武官、長井秘書官を從へて氣輕な黑の背廣に縞ズボンと云ふ出立でクレムリン宮に向つた、調印の場所はモロトフ外務人民委員の事務室で、大テーブルの向ふにスターリン書記長の寫眞がある外何一つ目立たぬ質素な室である、中央に向ひ合つて松岡外相とモロトフ外務人民委員其の隣にスターリン書記長と建川大使、宮川參事官其他隨員は後方に侍立した、調印は一同嚴粛な面持である、調印は松岡外相、モロトフ外務人民委員、建川大使の順である、終つて松岡外相は朗かにスターリン書記長と握手を交した…

スターリン書記長 松岡外相を見送る

モスクワ驛頭 固き握手

【モスクワ十四日發同盟】中立條約の調印を終つて一路歸國の途に就く松岡外相はソ聯の好意で一時間出發を延ばした國際列車の待つ北停車場に發車十分前の午後五時五十分に到着、プラットフォームに待ち構へた見送りのシューレンベルク獨大使、ロッソ伊大使、クリストフィ ハンガリー公使、ロゾフスキー外務人民委員部次長、パルコフ儀典局長、ツアラプキン極東部長等の祝辭を受け別れの堅い握手を交した、恰度その時、時ならぬ緊張が流れる如く忽然スターリン書記長がモロトフ外務人民委員と共に見送りに來たのだ、歩み寄る松岡外相とスターリン書記長握りあふ手と手、見詰め合ふ目と目そして互ひに肩を抱いて短いが陰てのない言葉と言葉に、固い信頼の心が通ふかに見えた、スターリン書記長の見送りは全く前例のないことで見送りの人々に非常な驚きを與へた、スターリン書記長を合圖に驛頭の興奮は更に高まり人垣に圍まれて頻に語る松岡外相、建川大使、スターリン書記長、モロトフ外務人民委員の四人の話しは盡きず松岡外相は周圍に促されて車上の人となれば スターリン書記長は「貴下の部屋を見たい」とてモロトフ外務人民委員と共に特別列車に入り暫し懇談、斯くて列車は定刻に十分遅れて午後六時十分輕く汽笛一聲モスクワを離れた

世界的な波紋

【臺灣日日から松岡外相、スターリン書記長、モロトフ外相】

【東京發同盟】第二次世界動亂の渦中で電撃的に成立した日ソ中立條約と…

皇恩に咽ぶ心や 役の成り 感慨深き松岡外相

【モスクワ十四日發同盟】日ソ國交に新紀元を劃する歴史的調印を終つた松岡外相は…

これからが更に重大

建川大使談

【モスクワ十三日發同盟】…

米國の反響

【ワシントン十三日發同盟】日ソ中立條約締結は既に不可侵條約が…

敵を徹底的に膺懲す

揚子江下流の綜合戰果

【上海十三日發同盟】揚子江下流に於ける占據地區内外の三月中の敵匪掃滅戰は交戰回數二百回、交戰兵力十萬に及び敵を徹底的に膺懲した、その綜合戰果左の如し
敵屍八、二四三、捕虜五二九、鹵獲品、迫擊砲二、重機一一、輕機三九、その他多數

ベオグラードに獨軍續々と入城

【ベルリン十三日同盟】獨軍司令部午後一時特別發表に據ればクライスト將軍麾下の獨戰車部隊の先遣部隊は十三日午前六時半ユーゴ首都ベオグラードの線に到着、目下續々ベオグラード市に入城中である

獨軍戰況發表

【ベルリン十三日發同盟】獨軍司令部發表
ユーゴ北部戰線 一、クリンゲンベルグ大尉の率ゐるライヒ師團の先遣小隊はドナウ河を敵前渡河北方よりベルグラードに突入、輝かしい一番乘りを揚げ獨公使館屋上高くハーケンクロイツ旗が翻つた
一、リユブリアナ附近を掃蕩中のイタリア軍部隊は相次いでリユブリアナに入城
一、ザグレブより南下の獨軍部隊はカルロヴアツチ(ザグレブ西南方六十粁)でイタリア軍部隊と連絡した、現在迄の報告に依ればザグレブ附近の戰鬪に於ける戰果は司令官二(?)を含む將官十二、將校三百、兵一万二千に上る多數の捕虜並に他多數の武器を鹵獲した
一、オジエク及びドナウ、チイサ兩河中間地區に於てハンガリー軍は國境を突破南下進撃中

殲滅セルビア軍 十四箇師に達す

【ベルリン十三日發同盟】セルビア軍は獨伊軍の進撃完成に依つて完全に殲滅されベオグラードも陥落したが、十三日DNB通信に達した情報によれば作戰開始以來一週間にユーゴ戰線において壊滅のため殲滅されたセルビア軍は十四箇師の多數に上つた、更に…ハンガリー軍もユーゴ國境に迫り…

ユーゴ戰線

【ベルリン十二日發同盟】獨軍司令部發表
一、獨伊軍部隊は十一日リユブリ…

ギリシャ戰線 獨急降下爆撃隊はサラミスの港灣施設及びアテネ外港ピレウスを空襲した
北阿戰線 リビアを東へ猛進中の獨伊軍部隊はバルヂアを占領
英本土攻撃
一、獨空軍は英本土に於ける…

ユーゴ南部戰線 獨軍部隊は必死の抵抗を試みるセルビア軍を撃破猛進を續けてゐるが、獨空軍部隊はセルビア南東地區の敵軍事施設、ベルグラード南方の敵列車並に行進中の敵部隊を爆撃すると共にボスニア、ヘルツエゴヴイ地方を空襲した

一、北部ユーゴより作戰中の獨快速部隊はザグレブを經て十一日その南方六十粁附近の要衝カルロヴアッツ(カールシュタット)に進出した、一方グラアラデン(ザグレブ東北五十粁)も占領し同地より南方に敗走中の敵を追撃…
クロアチア地方に於ける敵の抵抗は挫折し北部セルビア軍は全く壊滅狀態に陥つた
一、獨軍は各方面よりベオグラードに向ひ進撃中
一、強力なる獨空軍機は十一日夜英南部及中部イングランドの重要軍需工場を攻擊し多大の戰果を收めた

獨伊軍埃及に進入

【カイロ十三日發同盟】北アフリカ戰線に於ける英軍司令部は十三日これを次の如く發表した
一、獨伊軍はトブルクを迂廻しつつありエヂプト領内に進入した
一、バルヂアに陥落した…

國防國家の完成を

陸海兩相強調訓示

地方長官會議第七日

【東京發同盟】地方長官會議第七日(十四日)は午前九時より先づ文部省に於て、橋田文相の訓示あり次いで懇談に入り國民學校問題等を本省に聽取、次いで陸軍省に於ける…陸相(?)の訓示あり、次いで海軍省に於て…海相の訓示があり、及川海相…
一、歐洲戰爭の一般的情勢
一、太平洋に於ける列國の軍備
一、帝國海軍の方針
等につき夫々詳細に口演した

英の空頼み水泡

伊政府當局筋の觀測

【ローマ十三日發同盟】イタリア政府當局筋では「日ソ中立條約成立は樞軸參加諸國の勝利に資するところ大なるものである、この新事態の展開に依り若し米國が參戰する場合にはソ聯は英國側に立つて世界戰爭に參加することとならうと云ふ英國の希望は水泡に歸した譯である」と觀測してゐる

調査機關設置の案

貴院に共同體制機運濃化

【東京發同盟】貴族院では貴族院議員の…

カー大使香港 總督ら要談

【香港十三日發同盟】シンガポールよりのロイター電に據ればカー駐支英大使は十二日同地に到着した、近くポパム英極東軍總司令官並にトーマス香港總督と會見極東一般の問題につき要談を遂げる筈である

人事

▲藤原銀次郎氏 …
▲南鄕昭氏(野村系スペル・カレドニー鑛業會社長)…
▲能澤外茂吉氏(臺銀理事)十五日再び渡東へ
▲鐘和田良平氏(臺灣拓殖會社…)十五日來北
▲町田治雄氏(臺電東京支社…)十二日…歸北

◇…無絃琴…◇

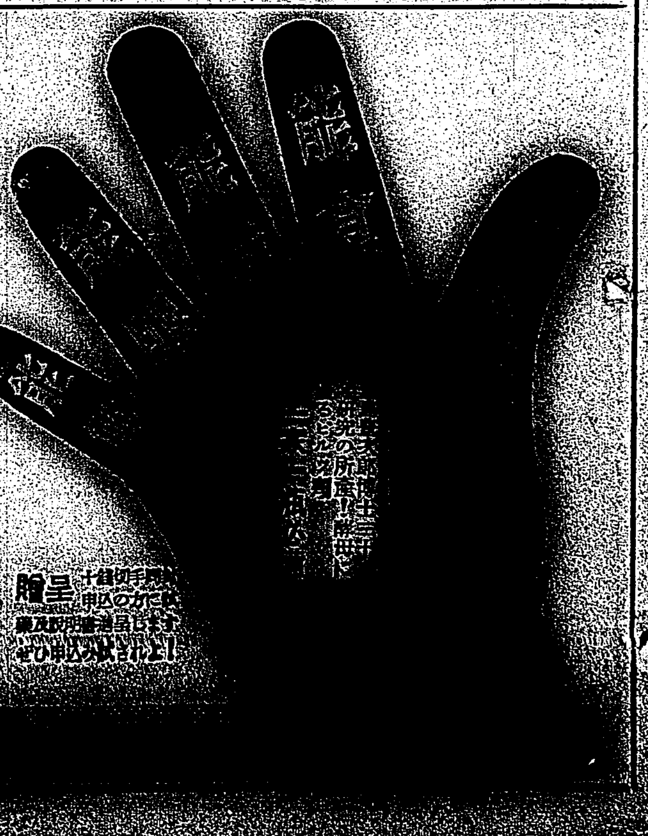
ヨッコリ中立條約が飛び出し電光石火的に調印を了して了つた▲…

三國志 (464)

(出廬の巻) 吉川英治作 矢野橋村畫

黄河を渡る(一)

ボイラー
大浴場配湯釜裝置
水道衞生 淨化裝置 (カタログ呈)
設計請負
株式會社 巴商會 東京 神田 大阪



酵母よりもピルツが日本人に適合するへ

日本ほど日常食物にピルツを利用してゐる國はない。味噌、醤油、酒等何れもピルツ(有効菌)が産出する強力な消化酵素の糖化蛋白分解作用を利用して製造するものです。ですからこのピルツ主剤のミクローゼこそは、吾々日本人の躰に最も適合した唯一の胃腸強生、榮養補給の家庭藥です。

ピルツとヘーフエ 流行の酵母剤はパンやビールの製造に用ゐられる外國産の有効菌の一種で人體を益するのはピルツと同じだが、酵母の欽點は抵抗力が微弱で酵母剤の中に生きてゐる筈の酵母が死滅してゐる例が往々ある。これに反し日本特有のピルツは非常な抵抗力を持ち…

胃腸強生 ホシ ミクローゼ

國策陶器瓶 一ケ月分(三〇〇錠) 一円五〇錢 全國藥店に有り

東京市品川區五反田 星製藥株式會社

兩陛下行幸啓

二十五日靖國神社へ

【東京發同盟】護國の英靈一萬四千九百七十六柱を新たに合祀する靖國神社臨時大祭は二十四日勅使參向の下に嚴かに執り行はれるが畏くも天皇、皇后兩陛下には廿五日親しく同神社に行幸啓、新祭神を始め幾多英靈に御參拜あらせられる旨十四日仰出されたがこの日天皇陛下には略式自動車鹵簿にて午前十時宮城御出門御出發同神社に行幸、同社境内においては奉迎の遺族に御會釋を賜ひ後本殿に御參進御玉串を執らせられて御親拜、同十時二十分同神社御發輦、又皇后陛下には同十時三十五分宮城御出門御同様御參拜、同十時五十五分同神社御發輦の御豫定と承はる

晴れの招魂式へ

廿遺族高千穗丸で東上

上京の遺族を慰安

六大劇場へ招待して

勳章傳達式

農業學校隊の先鋒滿洲國へ

多惠子女王殿下

徳川圀禎大尉の許に

けふ御目出度御降嫁

愛國少女の篤行へ

"サヨンの鐘"を贈る

長谷川總督褒辭と共に

感激の實兄等語る

あすから防空展

一般公開は正午から

參觀者への注意事項

近く豫防拘禁所

思想犯刑餘者に保導の施設

臺北刑務所内に設ける

再建新四軍

清黨工作を開始

國民黨員を生埋め

一死奉公を誓ひ

勤報青年隊解隊歸郷

勤報青年隊員の有志感激の恤兵獻金

潘、劉兩少將歸順

部下二萬五千を率ゐて

抗戰陣營に深刻な衝動

日月潭に泊る

素晴らしい賣行き

臺灣國立公園切手は大好評

新竹隊一行歸新

我が海運界の逸材

手辨當で遞信省入り

型を破つた無報酬の事任囑託

第五回試驗飛行

十九日パラオ・チモール間に

洋藥をも凌ぐ

漢方藥の效能

興亞院で處方集を出版

社會教育事務打合會

各府縣知事一行横須賀を見學

少年善導のための座談會を開催

日本、アフガニスタンの通商懇談會

恤兵獻金

藤原工業大學學部長に谷村博士

體温計も公定價格

明治維新以降の武備變遷展覧會

全市民で一二三

大和丸出船

あすの天氣

臺日案内

書籍　書籍買入　野田書店

醫院　性病科　永吉醫院

産婦人科

寫眞

印畫紙

マーツロールホルダー

時計眼鏡　和田のメガネ專門

メガネ　日光堂

時計修繕

ラヂオ器械　ラヂオ十ケ月月賦販賣

ラヂオ十ケ月月賦販賣

洋服　國民服中衣發賣

染物洗張　山内京染店

紙文房具　記念品に萬年筆

藥種商　梅肉X

自動車　淋病にコクチーデ　タクシーの御用は

特許　意匠・商標・懇切取扱　辨理士　井上清子特許事務所

樂器　ピアノオルガン　ピアノ・オルガン

レコード蓄音器

雜件　タイヘイレコード

冷藏庫　刀劍寶買　節米カマド　節炭コンロ　美容一般　日本式改名　シンガーミシン　山村荷取扱所　新型漕荷

便秘性乳幼兒に　マルツエキス　和光堂

正しき月經促進新藥　エムサン　月經不順　月經異常　月經過少　無月經

母吳楊氏令儀豫而病氣中の處四月十三日午前一時六十歳を以つて永眠仕候間此段生前辱知各位に謹告仕候　昭和十六年四月十三日　男　吳金　吳俊　吳槐　吳益　鏗如　孫　振澤　宗澤

ニキビに　薬用クリーム　レポスキン

中南米音樂アルバム　LATIN-AMERICAN MUSIC　タンゴ・ルンバ・ミロンガ・ガト・サンバ・クエツカ・コンガ・ポルカ・ガローパ・マルチヤ等、とかく樂しい南國音樂の精粹！　限定豫約募集　ビクターレコード

クロバー　くち紅　よい紅を選んで純日本的な身嗜みを

好評傑作集　縄の鈴音　次郎長ぶし　北京娘

國民學校　四月一日より

家庭

春の對談（二）

感激深い前線の夜

舞踊家 五條珠實
料理研究家 加藤照子

育兒の重要性

[illegible]

慰安の夕を想ふ

[illegible]

乾燥壓搾せる野菜

現地では携帶に便利で、長期保存に堪へ、衛生的でもあるといふので、乾燥壓搾野菜が歡迎され、このところ大量に製造されてゐる

不眠症の療法

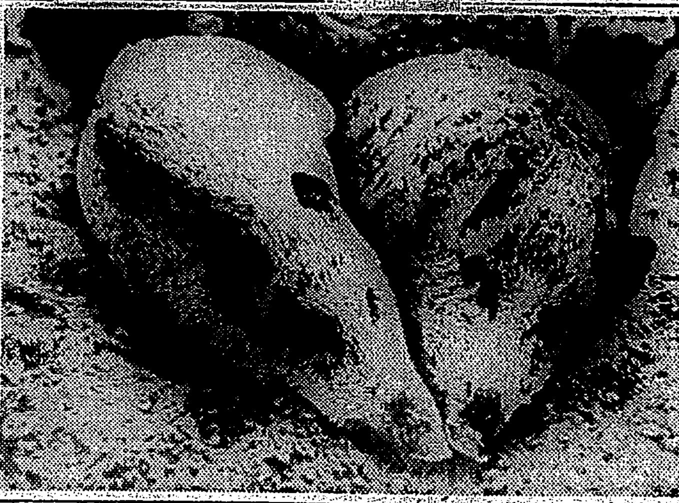
自己催眠をかけるのもよい

何か考へごとをしたとか、夢中になつて四、五日讀書に耽つたことなどがきつかけで、時々輕い不眠症をひき起こす人があります。[illegible]

不眠症療法としては、一般に數息法、深呼吸法、腹部按摩法、念佛法、觀音法などが古くから行はれてゐますが、要するに精神的療法といふことができます。[illegible]

[illegible]（厚生省保健課 川畑愛義技師）

春の日ざし（四）



眠る猪夫婦

[illegible]

精神の不安と母乳の分泌量

[illegible]

新入生にも勉强部屋を

[illegible]

玩具による幼兒の勤勞教育

お人形や玩具を子供に買つてあたへる場合にあまり無頓着すぎる母親が多いやうです。ただ綺麗だ可愛らしいといふだけではいけません。この間日本へ來たあるドイツの建築家の奥さんの話に、日本の人形はとても精巧に美しく出來てゐて藝術的には立派であるが、子供が持つて遊ぶのには適してゐないと云ふのです（お大事にしなさい、頭や髪にふれてはいけません）といふのでは子供には本當の意味での玩具になりません。[illegible]

子供の玩具にただ飾つて眺めるといふものではなく、それに依つて勞働と生産を教へるやうなものでありたいものです。特に都市に育つた子供にはこのことが必要です。ドイツで子供の小父さんとして有名なフレーベルが、子供のために詩と畫でかいた田園の生活と素朴[illegible]

御存知ですか

牛乳壜を返す時

[illegible]

トーホー手形保護器

小切手・手形の提出には最も安全な本器を備へよ。

和文・歐文兼用

株式會社 内田洋行 大阪・東京・満洲・北支・中支

神經痛 ロイマチスに アトカルミン錠

まづ疼痛を鎭め病原体尿酸を排除して神經痛を原因的に治療せしめねばならぬ。

アトカルミンは獨創の相乘作用を巧みに應用した化學的療法劑として廣く醫界に賞用せられつゝあり。……（詳しき文獻贈呈）

本劑は諸種神經痛の外、結核性胸痛、腰痛、關節炎、淋毒性關節炎、痛風、偏頭痛等に鎭痛劑として賞用せらる

製造元 日本藥品洋行　發賣元 田邊元三郎商店

糖尿病 專賣特許 チアベトン

内服劑の新發見！ 疲勞の恢復と精力の增進に

本劑は醫界に於て天然ビタミンCの補給源として結核性、其他の諸疾患にも廣く賞用せらる

チアベトンは超微多量に含むインシュリン樣物質並に諸種ビタミン（Cの他B1、B2、P、K等）の相乘作用により内服を以て血糖を降下し、体力の持久力を強化す。……（詳細なる文獻贈呈）……

日本藥品洋行　田邊元三郎商店

腎臟疾患 尿毒症、蛋白尿、高血壓、浮腫 アルワヂン

アルワヂンは血液殘餘窒素に直接作用して本態的に病的蛋白を除去し、危險なる尿毒症狀を速かに緩解せしむ。尚ほ本劑は一程度の蛋白食餌を許容しつゝ治療し得る特長を有し、利尿作用また顯著なり。

血壓亢進症に對し血壓降下作用著明

日本藥品洋行　田邊元三郎商店

精力源が カンタンに增せる

鰻だ！肉だ！卵だ！はもう古るい

根氣なく疲れる人
體力鈍く脈弱い人
頭痛頭重に惱む人
おぼえ惡く無精な人
寢起きに元氣ない人
手足冷え精根ない人
安眠出來ぬ人

キングオブキングス

淋疾 短期に治る
内服による化學療法劑
3—5日にして止痛止膿し漸次全治せしむ
藥價低廉 50錠 ¥1.50 100錠 ¥2.80 180錠 ¥4.80 250錠 ¥6.50
藥店にあり
東京神田神保町3 アルス藥品部 振替東京71819
ザオキン

★國產最高基準品・（植物性・專賣特許）

整髪に 丹頂の便利さ手軽さには異論の余地がありません！

丹頂化粧品本舗・金鶴香水株式會社

曉の町 (144)

武田麟太郎 作
林唯一 畫

姉弟對面（四）

鶴師はしのぶから、彼女と京太郎との肉親關係を聞いて、眼をまるくした。

「さうですか、それは……」

と、ちよつと驚愕の色さへ見せた。と云ふのは、さうした事實は今度の事件の方で我々、取調べがつかなければならないからであらう。こんなに屢々顏を合せてゐる彼女が彼の姉であるとは、何と云つても自分たちであらうと、それから自分たちの手抜かりに呆れかへつてゐる形であつた。しかしそれは必ずしも彼らの罪でもなかつた。

「――さう云ふことならば、是非ともお會はせしませう。京太郎に話してもようございますね」

鶴師は、しのぶの面影の中に何か共通するものを見出さうとするやうに、眼を瞠つて云つた。

彼女はあらためて、ちよつと頭をさげた。

「――ええ、お願ひ致します」

と、頭をさげた。

「――少し時間がかかるかも知れませんが、お待ち下さいますか」

さう云つて、鶴師は忙しげに部屋を出て行つたが、案外早く戻つて來て、

「――知々面會したいんですが、やつと面會だけは承知しました。すぐに連れて來ます」

「――ありがたうございます。それで、もう一つお願ひがあるんですが……」

「何でせうか」

「――あの、私たち二人だけで話したいんですけれど、……」

鶴師は默つて彼女を見てゐたが、

「――さうですね、いいでせう」

と、云つてくれた。

京太郎の來るまで、しのぶの胸は異樣にときめいた。息苦しいばかりであつた。

――はじめに、どう云はうか知ら。

涙が迫つて來て、眼が潤んで來さうとして來た。指さきで押へてドアの方に背を向け、窓際に立つて見た。國田門のあたり、やはり雨に煙んで、その濡れた風景の中を電車が走つてゐた。

足音が近づいた。怖ろしいものを待つてゐるやうに、しのぶは何か神に祈るに似た氣持で眼をつぶつた。

――だが、それは他の部屋に消えて了つた。ああ、よかつたと、錯覺した考へ方さへしてゐるのだ。

突然みたいにドアが開いた。

はつと呼吸を吞む。

「連れて來ました。ゆつくりお話になつて結構です」

鶴師は京太郎に椅子を示して云つた。

これが弟なのであらうか。

垢によごれ、髭を汚く延してゐるのは和紫生活の身であれば仕方ないとしても、生きた人の色のないほど青ざめ痩せ衰へて、バンドさへ許されずよれよれになつた袴をハンカチフで押へた。

しのぶは再び悲しくなつて、涙を……

眼の姿は怪めな限りであつた。髪の毛は亂れて、眼だけが熱つぽく凄味を帯びて光り、見るからにぞつとする姿なのだ。

しのぶの彼に對する記憶も突然に一瞬にして消えて了つた。

彼女も默つて、そこへ腰を下した。

さしうつむいてゐる彼をぢつと見つめてゐたが、何から云ひ出していいか判らない。あせればあせるほど言葉が見つからなくなる。對手も默然としてゐる。寧ろこの姉と稱する女に反抗する氣配さへ見せてゐた。

欽寧作戰回想

山下芳正手記

戰塵拂ふ間も無く 引續き掃蕩に出發

しかしながらこの偉大な戰果の陰には多くの尊い犠牲者が出てゐる。私達は多くの家族と別れて、戰場の生命が絶たれるのはあつという瞬間、時によればさういふ餘裕さへない一刹那である場合が多い。さうした戰友の惠には深い感謝を禁じ得ないのである。これはどの兵隊とても同じであらうが、特について私達が誇りとしないのは戰死者に對する悲しみの心と崇高な敬仰の念を、安價な言葉で破りたくないからである。分隊長集合に行つてゐた左右知分隊長が歸つて來た。左右知分隊長は兵團長から與へられた戰鬪の状態を傳達し、これで戰鬪は一段落ついた譯であるがしかし後方には、また殘敵が深山ゐる模樣であるからこれからその殘敵掃蕩に行くのだといふことを告げた。約一時間餘りの

休憩の

後私達は八塀塘を出發した。道路の右側を進發部隊が左側を林部隊が俸鑓を擧して出發した。朝風に駒が嘶き非頂な歩調の音が明け行く爽かな朝の大地から起り見るも逞しい進軍が開始されたのである。私達は暫らく本道路上を進軍した後道路を境に二手に分れて山岳地帶にはいつて行つた。山道を縫ひ山を越え部隊は午前中何事もなく進軍した。私達は午前中部隊獵備隊で聯合陣地に備へてゐた。前衛部隊も大した戰闘はしてゐないやうである。軍旗が私達の直ぐ後方から來てゐる。正午私達は悲壯けに燒け盡した山に出た。松の香葉が焼けて…

攻擊を

開始するらしく部隊が山の麓に…大砲を捕へ馬から彈藥を下しはじめた。敵はまだ山の立木をゆるがし出した。一彈一彈が非常に正しくさうかと思ふとけたまに何か遠くの彼方で炸裂するらしい音が聞え出した、私達も聞いたことのない…

陣地に…に到着した。砲兵隊が前進しなくなつた。前方の山は敵の陣地を擁するであらうといふ事で待機した。それは超の交響樂の前奏曲とでも言ひたいやうなデリケートなものであつたが、その音が一つの生命を奪ふ鉄の叫びとは決してしかし思はれないものであつたが、しかし次第次第に無氣味な音となり死の叫びとなつていつた。敵彈が飛來する度に立木が傷つき悲鳴をあげ出した。松林がざわざわと騷ぎ出し遂に森の中は殺氣立つた。

本社主催 將棋高段者對抗戰

第四十一回の第四局（國は前局七三三手）

八段 齋藤銀次郎 香落　七段 梶一郎

	九	八	七	六	五	四	三	二	一	
	香	桂	留	步			乎		香	一
					飛					二
	步	步		步	步	乎		乎		三
			乎	步	銀	乎				四
		玉	金	步	桂	王	飛		乎	五
			步							六
		步			乎	乎				七
										八
	香			步	乎				彗	九

▲六二銀(一) △八三玉(9分) ▲同 玉(一) ▲七成(一) △六九角(5分) ▲同 飛(一) ▲八九玉(4分) △五銀成(9分) △九二玉(一) ▲七四金(一) ▲二飛成にて 梶七段の勝 指手百廿一手 持時間各十一時間

勝因は飛角の働き

自戰記 八段 齋藤銀次郎

前局において上手が五八銀と攻めに行つたために、逐平く梶氏に八四角と桂と取られ同銀と拂つた時に七四桂を急所の王手をかけられ一ぺんに參つてしまつた。尤も私の思い詰程ではあつたが五八銀も敗勢があつた。

遂に梶氏の八二桂成、同飛、七四金、九二玉、八二銀成、同玉、二二飛成にて即詰となつた。以下詰みの手順は、五一桂合、八二香、七一玉、八一飛、六二玉、六三金、同玉、六一飛成までとなる。

圓ひの跡をみるに、この將棋は序盤に上手の作戰を誤まつたために私の飛車を二二へ東縛されて指しにくかつた。そして第三局目に私が六四銀と攻勢を向はせたところ、梶氏に六六步と八六角打たれ六四桂の銀を脈迫の顯勢を採られ苦しくなつた。

打が詰かつたのである。今日の第一手に八二銀と追求して來る。これを同飛と取れば、同桂成、同玉、二二飛成で結局上手の敗北となる。もうどう指しても上手の負けと決まつてゐる。どうせ負けるなら、私の習局心理から二二飛と手順に成らせたくないで八三玉とした。と九一銀不成と香を取られ、まだ八二銀成が殘る。かうなるとやればやるほどだんだん悪くなるのが當然である。及ばずながら、六九角と手筈した。梶氏は八九へ下る。八八玉では六七銀成で必死となる。

この八六角出のために二三飛(第四局)と固らざるを得なくなり、それで、一四步と步を切られ、次に私は八四步、八五步と玉頭の攻撃を受けた。八五步は頗る…だつた然しながらこの取を与へずを絶してで利用する方法はあつたのである。それを六四角(第七局)としたために、結局梶氏にうまく飛、角をはで使はれて敗れ去つたのであ、かくて私は敗れ去つた(完)

木村名人講評

下手八一銀以下二二飛成迄の寄せ手順は甲分がない。この將棋を一言にしていへば上手の作戰負けである。それは未だ定跡とも定跡とも飛車とも不明な序盤に於て、上手が慎々に九五步の位勝を許したのが重大な損失で、この位負けは遂に終局まで禍根して自然に陣形を指す事態に至つた。中盤若干盛り返してあつて七二飛、八四角と打開し、一度は飯断を悉からしめたが手捌すべき八七角を忘ったことに六五步の縛手で挽回不能の形勢に陥つた。直後の敗因は七四同銀と五六步とが遠因は九五步を許した作戰の不可と斷する

戰友の

遺骨を捧げながら私達は……らもどうしても戰友の死を肯定出來ない場合が多々ある、そして今もさうした感情が深い。今や私の體は私が生存してゐるといふ感びと戰死者に對する熱い感傷の念で、怖しく悲しいものとなつてゐる。私は如何にも難しい感情を繋つてはゐる

獨との情勢惡化に 苦慮する米映畫界

反ナチ映畫製作や對英援助を就いて嘗て爲したアメリカ映畫界の態度は、獨逸と共に獨逸映畫の配給に……獨逸は報復手段として官庁に……に於ける……に撤へてゐた。……はアメリカ映畫界の……に於ける……をしてゐる。アメリカ國務省も近く獨逸映畫の上映禁止を正式に發令するものと見られるに至つたので兩國間の關係の惡化を映畫界が切實に示すものとして注目されてゐるが、これに對し獨逸映畫として既に歐洲並に東洋に於ける市場を喪失してゐる各アメリカ映畫會社は最近に於ける甚しい減收に更に拍車を加へるものとして各映畫會社の聯合團體であるアメリカ映畫製作配給者協會のウイル・ヘイス會長はこの程ルーズベルト大統領と會見しこれが打開策を協議したが南米の市場確保に努める以外適當な解決策を得られなかつたものの如くヘイス氏は會見後次のやうに悲觀談を語つてゐる

政府の救濟策が得られねばアメリカ映畫企業は危機に見舞はれ國家への協力に支障を來すやうになるであらう

佛官公署から 女從業員追放

【ヴイシー特同盟】「フランス家庭の理想再建」のためには女は家の外に出て働くことはまかりならぬといふ法律が、ペタン主席によつて作られた、第一にいままで從業員の約三割を占めてゐた官公署から女の追放が始まり兵役代は、代稼ぎの若い女性群に大恐慌を與へてゐる、政府の云ふ「フランスの家庭的理想」といふのは「女は結婚して家に落つて子を産ませ」といふにあるので女性達も獨身者には積極大であるが大勢者でかつ主も働いてゐるとなると大國吾職なしに放になることになつてゐる私的企業に働いてゐる女性にはまだこの法律は強制されてないが聞いてゐる女性は非常に脅かされてゐるが法律には無理があるので政府もこの適用には手心を加へると同時に法律の徹底を期すべく家政婦の授業は……の主婦も少なく……

山嶽戰と山地兵

歐洲隨一の獨山嶽部隊

の獨軍のユーゴ進攻が開始された、衆目の見るところ自ら二十萬のユーゴ軍は、獨機械化部隊の陷落下に入ることは疑ひないが、獨軍當局も今次戰局の見透しについて、ユーゴ東北地方のドナウ河の線に於ては樂勝し得る、しかし南部山嶽地帶では「作戰が容易でない」旨を公言してゐる、同時に作戰が開始されたギリシヤ、ブルガリア國境方面も山嶽重疊たる地帶であり、この方面に於ても獨軍はギリシヤ軍並に英軍と山地戰を展開するものと見られる、結局バルカン戰局は山嶽戰にその決着を見出すことが出來るわけで、獨軍山岳兵の活躍が期待されてゐる。英希ユ軍戰線はアルプス山嶽をめぐつての激戰となるが、獨軍がこの戰線に配備したのはオーストリア山嶽部隊であり、指揮官には山嶽戰の勇將ヴイルヘルム・リスト元帥をあててゐる、リスト將軍はポーランド戰局の統戰となつたカルパチア山脈の突破作戰に偉功を樹てて居り率ゐられる獨軍は常時の部下十四軍であり、獨山嶽部隊は三ヶ師團（一九四〇年編成）で成つてゐる、これに對するユーゴ軍は總司令官にボヤヴイツチ將軍を任命してゐるが將軍は一九一三年の第二次バルカン戰爭に於てセルビア軍を指揮しブルガリア軍を擊破した戰歷をもつてゐる。ユーゴ軍は殆ど總ひのセルブ人の將兵から成つてゐて、セルブ人は傳統的に好戰的の性格をもちゲリラ戰に長じてゐるといはれる

山■口■柳壇

塚越正光選

課題『熱心』その一

飯時も書物に耽ける試驗前　羅東街 森野ひろし
名を呼ばれ呼ばれて勞働兵氣弱き　花蓮港 渡邊匯生
千頁繰つて探じた尋ね人　基隆市 平山龍彌
孜々苦勵熱に燃えてる努力型　同 銀郎
宿題に親子の智慧を絞つてる　臺北市 森
熱心の足りない事を棚に上げ　基隆市 中村八重
身も輕く熱心に說く宣撫班　馬公街 万松白い花
熱心な宣撫愚民の夢も醒め　同 土屋柴水
過去を捨て祖國に盡す宣撫班　深坑庄 東見紫朗
一度二度三度集金振りに行く　彰化市 內野佐吉市　德久加賀

◇次の課題「都会」四月廿日締切「指先」四月廿七日締切

商況（十四日）

東京銀行資株

	寄	高	安	引
日銀	五二一、〇	同		新三六、五
正金	一八四、二			
郵船	一一二、〇	同		新八二、五
臺銀	一〇八、〇	同		新五七、二
朝銀	九一、五	同		新二七、九

東京國債物前場

	寄	引
甲、五	一〇五、四〇	
一、四	一〇二、八五	
二十三年	九八、七〇	

東京短期前場

	寄	高	安	引
東新	一一二五	一二〇	一二四	一一四
大新	五四六	五一一	五二	四六
鐘新	一五四	一三	一五	一三
帝人新	八三五	五九	六〇	五三
日産	九三六	三九	四四	三五
日窒	三六	三三	三九	三六
滿業	六一八	三七	二一	一八
鐘紡	一八九	二一	二五	二五
郵船	八八九	八八	九三	八四
石川島	三七四	三七	五〇	四七
日石	二六四	二五	二八	二五
水産新	四四五	四七	四七	四五

東京長期前場

[illegible]

大阪短期前場

[illegible]

大阪長期前場

[illegible]

大阪棉花前場

[illegible]

橫濱生絲前場

	寄	引
四月限	一、五一一	一、五一一
五月限	一、五〇五	一、五〇六
六月限	一、五〇〇	一、五〇四
七月限	一、五〇九	一、五〇四
八月限	一、五〇三	一、五〇五
九月限	一、五〇三	一、五〇五

神戶爲替

[illegible]

正金建値

[illegible]

★映畫と演藝★

■國際館（晝正午上映）1日本・海外ニュース 午後〇時〇〇分 2許生蜂 3大地に祈る 4關印探訪記

■第二世界館（晝正午上映）1二本松少年隊 2隣組のをばさん 3花つみ日記

■大世界館（晝正午上映）1日本・海外ニュース 2ズタアと殺人鬼 3故郷（樺太篇） 4大帝の密使

■臺劇（晝正午上映）1日本ニュース・アサヒホームグラフ 2水產日本 3思ひ出の問答 道一代男

■芳乃館（晝正午上映）1日本・海外ニュース 2秋菓の火祭 3南國物語

■新世界館（晝正午上映）1名月赤城山 2生きる夜の（前篇） 3土蜘蛛

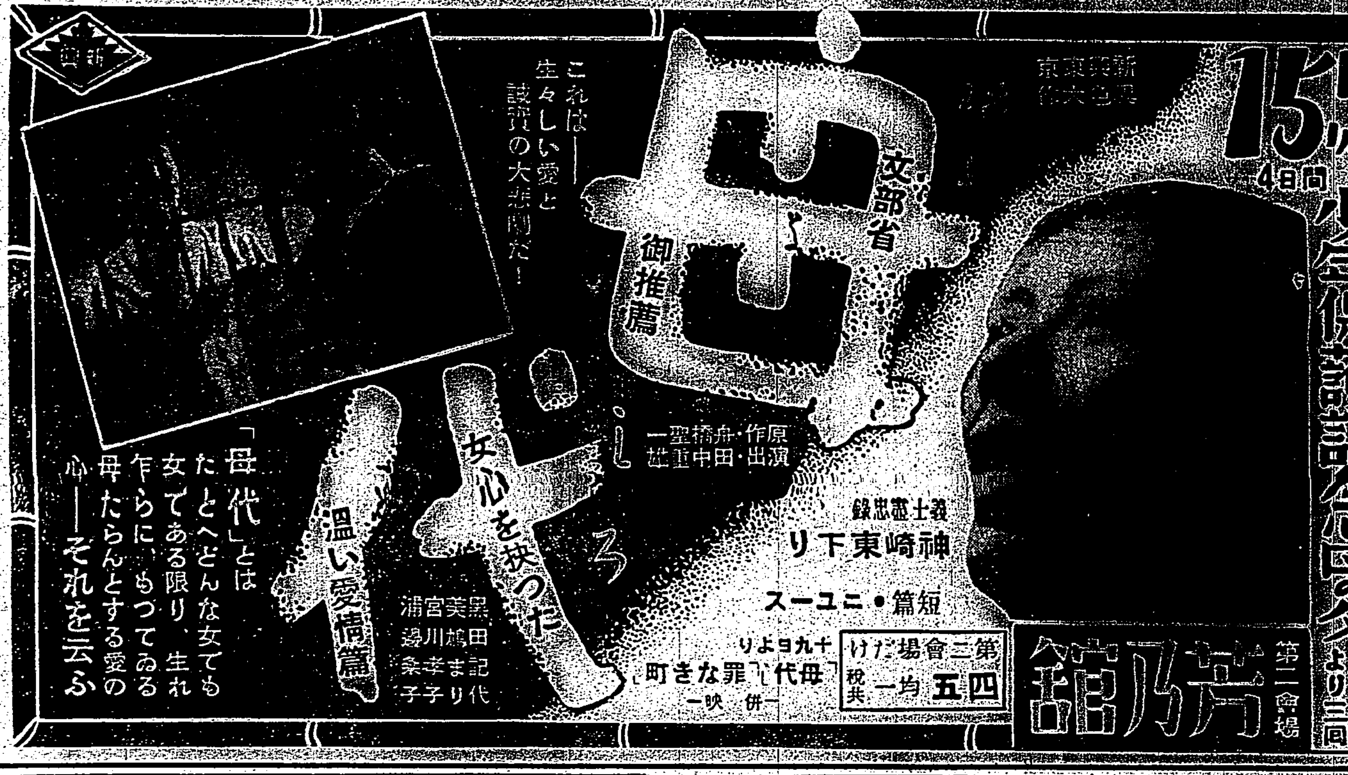
■公會堂（晝正午上映）1あゝ別れの歌 2遠い勤務兵 3ジャングルの戀

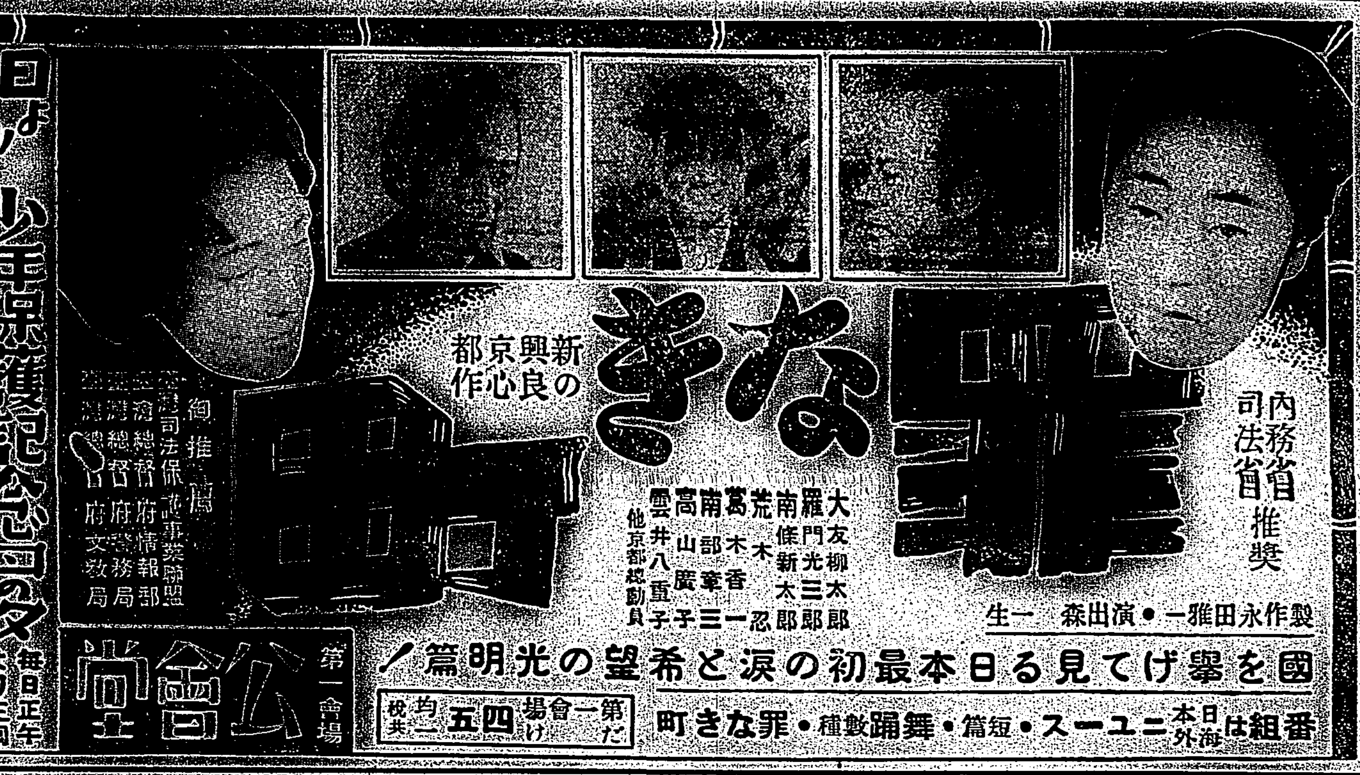
■榮座 午後五時半分 博多二〇加 1おかめ寧よ 2旦那の心配 3最後の歌

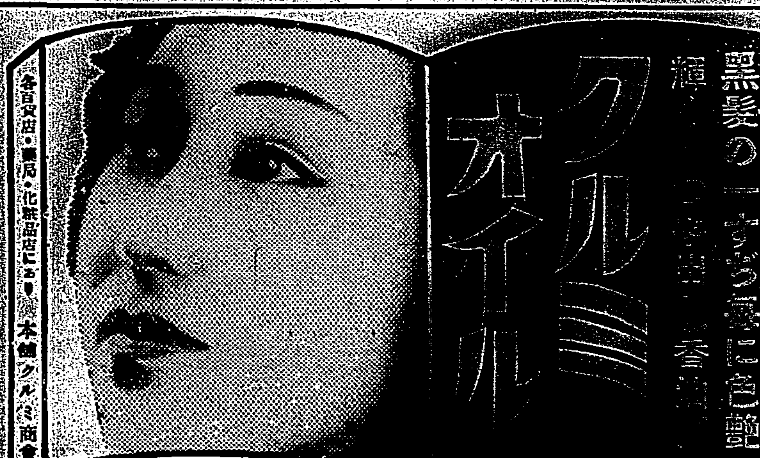
今夜の放送

▲六・〇〇少國民の時間ゲン會「ゴレカラドンナモノガ發明サレルカ」原田三夫他 ▲六・二〇シンブン ▲六・二五時事解說 伊地知進 ▲六・三〇國民の時間 ▲六・五〇ニュース ▲七・〇〇少國民の時間奉國と佛印山 佛印週間（第一夜）奉國と佛印山本進一 ▲七・二〇政府の時間ラジオ國民讀本「植民地支那の解放」 ▲七・二〇われらのうた 下、木の芽他日本放送合唱團他 ▲七・四〇新日本音樂・箏奏曲「箱根曲傳」 松超 ▲八・〇〇ラジオ小說「平家物語」丸山定夫他 ▲八・四〇音樂 「五月雨柳」吉野英之助 ▲九・〇〇時局解說 現下の食糧問題 石井英之助 ▲九・二〇歌曲「阿呆陀羅經」大村武 ▲九・五〇ギター獨奏「冬の夜語りに」他 莊原三郎

特別廣告







臺灣日日新報

日本夕刊共八頁

陸海兩相烈々の訓示
地方長官會議
必勝の軍備充實
總力戰態勢を強化せよ

陸相訓示（要旨）

東條陸相

海相訓示（要旨）

及川海相

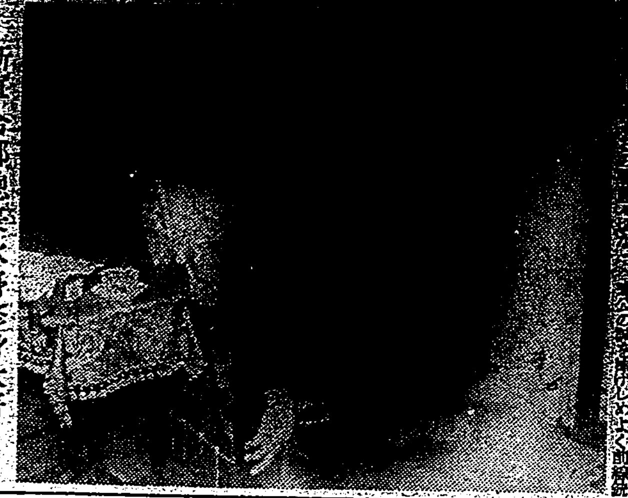
【東京發同盟】十四日の地方長官會議に於る及川海相訓示要旨左の通り

主要質疑應答

【東京發同盟】十四日の地方長官會議において國民學校、師範、國語問題等に就き質疑應答が行はれた

思想國防に萬全
橋田文相の訓示

【東京發同盟】十四日の地方長官會議に於ける橋田文相訓示要旨


新軍令部總長永野修身大將

戰時體制の整備へ
全面的に協力邁進
全國金融協議會總會

【大阪發同盟】全國金融協議會第二回總會は既報の如く十四日午後大阪ホテルに開催、河田藏相以下本省關係官、日銀總裁等臨席の上左の如く決議した

一、時局に對する決議
一、金融機關の國策協力に關する申合
一、政府に對する要望事項
一、大同團結に關する件

西尾壽造大將
東北、北海道へ

最高度に資金活用
中小企業更生に協力
結城會長挨拶

結城日銀總裁

海鷲南陵等（安徽省南部）を痛爆

【〇〇基地十四日發同盟】中支海軍航空部隊は十二日正午前折柄の惡天候を冒して南陵（蕪湖南方五十粁）を攻撃、市街の中央部官衙を爆破し多大なる戰果を收めたり

地方金融機構再編
藏相、貯蓄増加に協力要請

藏相演說要旨

利潤を制限
資金の蓄積
一府縣一行
國民生活の
國家全體の
起債の圓滑

獨ソ追加經濟協定（內容）

【ニューヨーク十四日發同盟】

中立條約と不可侵條約
嚴密な區別つけ難し

重慶に電擊的衝擊
國府の和平建國躍進せん

【上海十四日發同盟】

大東亞の安定に多大の寄與
張滿國總理談

【新京十四日發同盟】

英當局筋見解

【ロンドン十三日發同盟】

滿ソ 滿蒙 國境に靜謐齎す

【東京發同盟】

米議會首腦の觀測

【ワシントン十三日發同盟】

米二千三百萬弗の船舶購入計畫を完了

【ワシントン十三日發同盟】

伊軍進擊

【ローマ十三日發同盟】伊軍司令部發表

洪軍活躍

【ブダペスト十三日發同盟】

有志代議士ら懇談

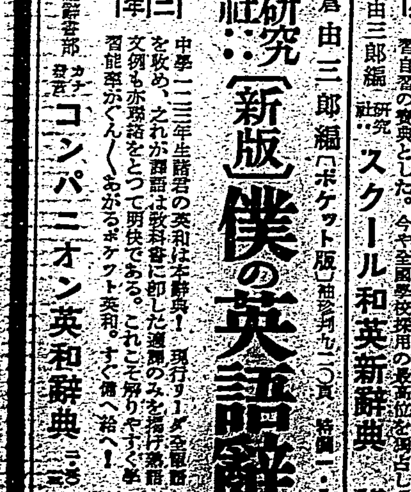
【東京發同盟】

外務辭令

【東京發同盟】

人事

今日の府報



昭和十六年全國高專大學豫科
入學試驗問題正解
愈々發賣!!
正解第一を誇る最高峰
入試解答の標準版！
堂々百三十校を收錄
定價一圓五十錢
東京麹町富士見町 研究社

全國高專百餘校入試の三大標準問題集
上級英語
上級數學
定價各五十五錢
研究社

簡約英和辭典

岩崎民平編
研究社 新英和大辭典
武信由太郎編 研究社・新和英大辭典
研究社辭書部編 研究社 スクール英和新辭典
岡倉由三郎編 研究社 スクール和英新辭典
岡倉由三郎編 研究社〔新版〕僕の英語辭典
研究社辭書部 コンパニオン英和辭典
東京市麹町區富士見町 研究社

社説

日ソ中立條約の意義と價値
三國同盟の威力愈々加はる

一

「ノモンハン」事件以來日ソ關係はその後漸次調整に向ひ、昨年九月二十七日三國同盟の締結を見るに及んで……

產業團體令
―商工省側の構想―

【東京電】統制會の法的根據を形成する產業團體令は……

工業用輸入鹽の最高販賣價格改正

【東京本社特電】昨年十一月の閣令……

中支振興債券
第三回發行條件

中田製作所
增資案を附議

臺灣石炭會社
創立は六月中旬の見込

臺灣石炭株式會社は去る二十日の第一回發起人會で定款、事業目論見書その他出資額等を決定し……

電線管並に硬銅線配給申請

日本雜貨大洋洲輸出組合の統制强化

帝國石油會社
七月下旬設立豫定
總裁の噂に小林前總督

砂糖事務の中心移動と業界
臺北の陣容强化

臺灣通信工業會社
永淵商會を買收、新設

大正醬油無配か

山火事被害
昨年度約二萬圓

臺北州農機具工業組合創立

大阪立會法變更

稻の害蟲防除は
加害狀況の早期發見

壓搾終了

製糖終了

綜合

經濟政策の實踐
―改造後の内閣に望むもの―

最近重工業界の若手指導者に向つて「事大主義の圈内に經濟界が何をし……

經濟新體制

政府の態度

財界協力面

低物價政策

問題の解決

（大森吉五郎）

内外商況（十四日）

株式　好感乍ら小動き

兜町前場況

兜町後場況

東京短期後場

東京長期後場

大阪短期後場

大阪長期後場

島内現株相場

《北濱展望》

絲況

大阪棉花後場

橫濱生絲後場

財界　株界

株式名義書換停止公告

來ル五月壹日ヨリ同月定時株主總會終了ノ日迄株式名義書換ヲ停止致候

昭和十六年四月

鹽水港製糖株式會社

勸業債券廣告

日本勸業銀行

公認 臺北洋裁學院

五月一日 新入學申込受付

各地洋裁學校は材料費がかゝる本院でこそは校友會の店の新設に依り斷然其の不安なし

L・C校友會 謹告

燐料報國

マッチ一本で火のつく煉炭現る

日日化學研究所

精神文化全集
全廿四卷 豫約募集

新しい修養と敎養

第一回配本中 室伏高信選集

怒濤の申込！遂に五十版突破！品切中の處一擧七十版增刷

精神生活を充實昂揚し高き敎養と知性を與へる書の集大成

見よ！此權威此網羅！

戰爭文學傑作集

潮文閣

アサヒカメラ
四月特別號

春の傑作を生む心構へ

科學と寫眞座談會

寫眞に添へて一筆啓上

春光白衣に光る！

人物寫眞の照明と扱ひ方

フオト・インタアヴュウ

寫眞界

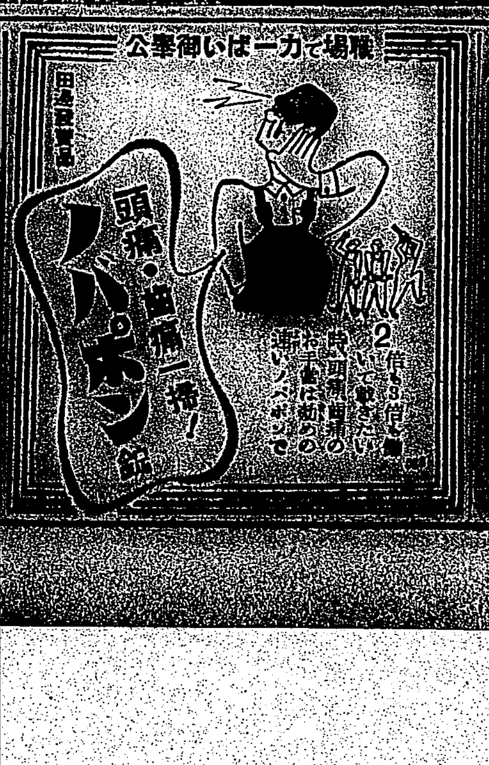
の話題

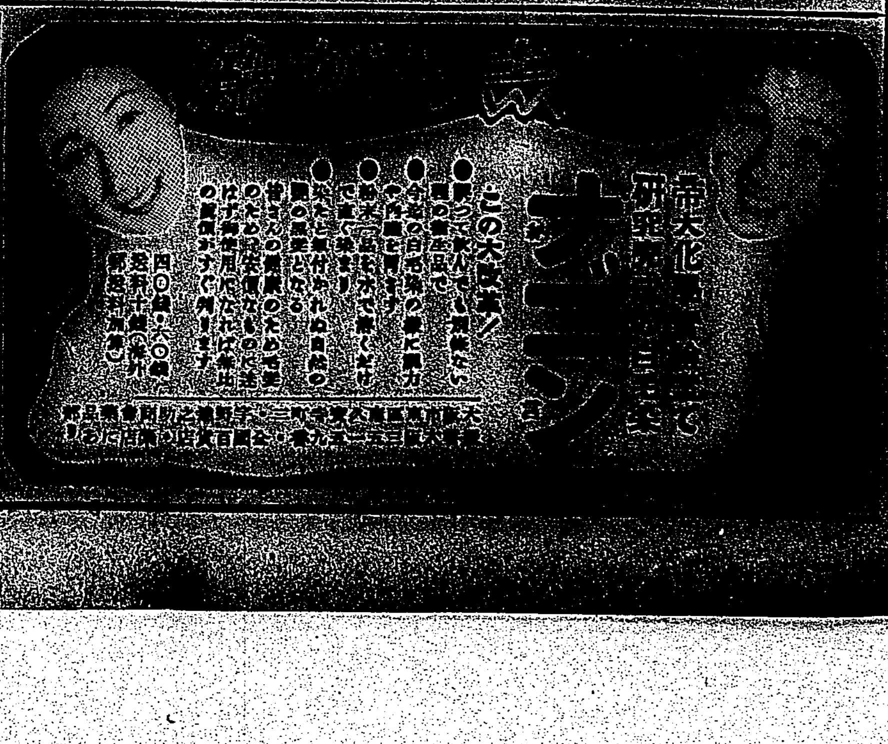
寫眞家の心理

お願ひ　本誌の豫約販賣に各位の御協力をお願ひ致します

朝日新聞社發行

本號に限り特價一圓





本島の婦女子群を農耕に動員の計畫

臺北州で劃期的な試み

少年保護の記念日

臺北で種々な催し物

少年犯罪者保護に溫い理解を望む

山田聯合保護會副會長の談

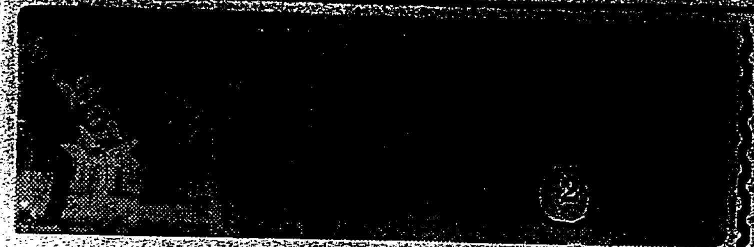
本年のスケートは八戸リンクで開催

嚴かに市葬

基隆出身の陣歿四英靈

本間軍司令官

高砂丸で歸臺の途に



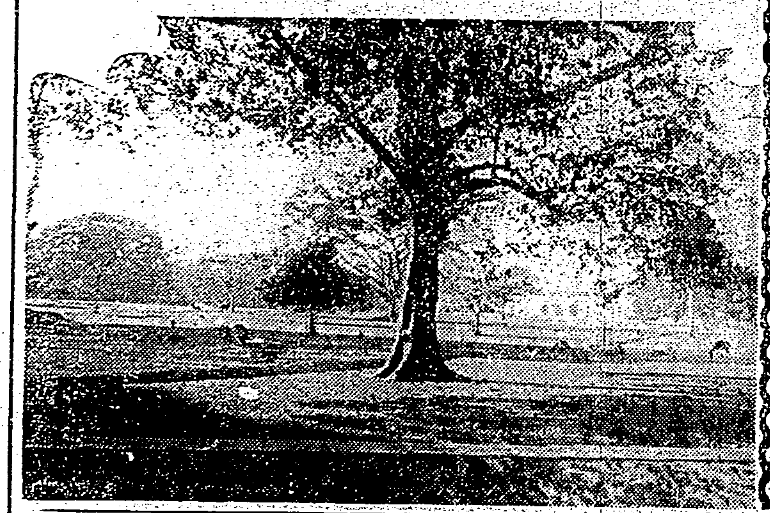
技術の南進も必要

南方各國の農業を刷新

日本を指導者とする新東亞建設の建設にあたつては、日本的な産業の指導が行はれねばならないと信ずるのだ

（寫眞は鉄谷博士）

農學研究の一進歩せる一國



日ソ中立條約の反響

松岡外相外遊以來

肝を潰した重慶

ソ聯の援蔣もこれで終幕

條約成立による

南方政策强化を切望

臺灣時局同志會から祝電

電文

國防强化聯盟から各相に激勵電報

快哉を叫ぶ

廈門官民

臺灣の官民は大いに緊張

石川廈門總領事の歸任談

廈門の居留民會で學校・警費を負擔

周作人氏訪日

華北政務委員會教育總署督辦周作人氏は京都で開かれる東亞文化協議會に出席のため……

（寫眞は周作人氏と夫人）

周作人氏帝都入り

入京第一夜に湯博士の追悼會

博物館協會で理事會

水社から嘉義へ

齋藤總務長官けふ歸北

全準備委員參集

皇民奉公運動の第一歩

天覽馬術の感激

內田臺灣代表の歸臺談

交通局總長

臺東へ初巡視

第八十二回特別放送

井上報道部長

竹東より臺中へ向ふ

印刷用紙を節約

二見氏家族同伴で十八日に離臺

弱い赤ちやんには國費で療養を施す

米穀配給所員に制服を着用させる

アパリーに大飛行場

比島最大の機構

市議の變り種

新竹の官選市議

米穀納入組合の幹部を取調べ中

入船出船

富士丸

ラジオ

けふの天氣

産婦人科 專門 福生堂醫院 院長 陳氏 却 台北市太平町四ノ百（稻江信用組合對面通り）（病室完備）

石井小兒科醫院 新起町一丁目 醫學博士 石井義男

本村齒科醫院 台北市大和町三ノ百 院長 本村 静 次長 合志信雄

軍人會に竹腰の國防服

急告
今般十五日より開催仕る可き「少年保護記念日の夕」第三會場芳乃館に上映致す「母代」「罪なき町」は延着致し候に付到着する迄願ひ申上候
臺北州司法保護事業聯盟

株式名義書換停止公告
臺灣パルプ工業株式會社

明るい名刺 精美堂

日本郵船 富士丸 大和丸 香取丸 賀茂丸

大連汽船

南日本汽船

辰馬汽船

東亞海運

大阪商船

故陸軍中尉增野欽哉儀中支方面ノ戰闘ニ於テ戰死致候間此段御通知ニ代ヘ謹告仕候
昭和十六年四月十五日
父 增野雅信
親族代表 里深儀三
友人 鳥居又吉
横井鋼一

工藝品 高級漆器
眼鏡 檢眼
高級レンズ
高級枠
鎌野時計舖 臺北榮町

極東護謨製造合資會社製 工業用ゴム製品 各種パツキング 工業用ゴムホース 代理店 秋本商事株式會社

冷凍機 ヒカル工業所 臺北市西門町

辯護士 小山內 臺北市表町

新皇軍將士武運長久
四月十五日より
尚武人形陳列會
お子様の御祝品を國策に添ふて
同業者合同販賣
場所 臺北市本町 村山商行
共販店 吉村玩具店 アサヒヤ商店 水野商會 村山商行

勤勞報國青年隊在郷者は適時招集し再訓練
臺南州中堅青年養成を徹底

【臺南電話】臺南州勤勞報國青年隊在郷者……

教育
……

庄役場職員の全部が改姓名

恤兵展前人氣旺ん
出品物全部高雄に到着

【高雄電話】高雄における時局……

大甲郡業態別組合定時總會

嘉義在住者のため恩給金庫臨時出張

負傷して贈られた見舞金を國防獻金

板橋街時局講演會

熱辯

時局講演會

大甲街時局講演會

好印象は港口から
高雄の關係官廳で改善

【高雄電話】……

不便

東港の水産デー
一等　七尾　鈴木　技師
二等　七尾　鈴木
三等　五尾　劉　川
四等　五尾　邱
五等　三尾　游　水
特別賞　田中　新一

臺東

魚料理試食會

竹南

少年保護記念日に講演と映畫の夕べ

臺中

近づく惣田鰹漁期
臺東廳の網入許可さる

臺南素人釣競技會

臺東バナナ初出荷
今月中には島内に發送

華僑聯合會結成

"國語眞道" 近く臺中で發刊

竹南郡の獸魂祭

高雄貿易振興會總會

義務教育は大丈夫
北斗の就學率向上

【北斗電話】……

臺中市内後龍子に特定郵便局を新設

長雨に惱む通學兒童

玉里報國推進隊大隊
アミ族も加へ編成
神社前で嚴かな結成式

高雄競馬（二日目）
【高雄電話】高雄競馬二日目の十三日成績……

老春（52）
川口松太郎 作　伊勢良夫 畫

東京（二）

千枝子はそれつきり露田の顔を見ようとしなかつた。翌る日は、朝から局金へも出ず奧の間で、母を相手に、話物の手傳ひなどをしてゐる。露田だけがただめようとするのだが、露田自身でも、正しい態度が判らず、千枝子を抑へる自信もない。

「彼奴も氣が立つてゐるから、今はあんな風に云つても、二三日たてば後悔する。二三日我慢してやつてくれぬか」

小母さんが、たのむやうに云はれたが、露田は辛抱が出來なかつた。

明日は、月代山の櫻を見に行かう、家中へ内密で、行く氣でゐた千枝子は、露田に許す心だつた

二つに一つだ。中途半端ではゐられないのか、正直な氣持だ。

「東京へ行く」

はつきりきめると、

「源二郎を連れて行かう。八木澤の大道家へも話して、上京中の源二郎を見る事にしよう」

千枝子への意地も手傳つて、相談をせずに、源二郎と一緒に東京へ出て來たのだ。

が、然し、それでも、まだ露田は、千枝子を捨ててゐなかつた。本當にあきらめてはゐなかつた。東京へ來てしまつても何時かは千枝子が理解してくれさうな心持が深いのだつた。

千枝子に對する行きがかりの意地もあつた。引くにも引けない冒險の上の我慢もあつた。

無論、源二郎への愛情もあり、露田らしい人間馬鹿の結果でもあつた。いろいろな事情と經緯はあつたにしても、それはもうみんなすぎた事で、今となつては、醜い愛情が深く深く感じられる。

これから伸びて行かうとする若い芽生えを正しく遙かに伸ばしてやりたい、途中で曲つたり、しぼんだりはさせたくない。行きがかりも、意地も我慢も、結局は、二人を結びつける楔びであつて、ぬきさしのならない因縁に縛られたも同じ事だ。

それでも露田は、三石を出て來る最後の瞬間まで、千枝子が止めに來るやうな氣がしてゐた。東京へ歸るとは云つても、いざとなれば、千枝子も折れて來るだらうし自分も強情を張らず、お互ひの行きがかりを流し合して笑ふだらう。——内々ではそんなつもりでゐた。露田も、月代山の花の下で正直な心の底を打明ける心算だつた。千枝子が露田を想ふ心も、露田が千枝子を愛する感情も、誇ひたく、雙方に自信を持たした。

「明日こそ、本當の事を云つてしまはう」

今までにも、話はしてゐたが、最後の一歩手前で、「結婚」とか「戀愛」とか云ふどんづまりの形式は取らなかつた。

どつちからでも、云ひ出せば結論のつく話が、云ひ出し切れずして、そのままになつてゐる。

「明日こそ云はう」

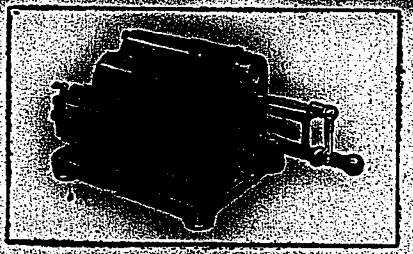
氣負ひ込んで待ちに待つてゐたその夜。あんな出來ごとが持上つたのだ。

收拾のつかない氣まづさが、源二郎の歸りばかりではなかつた。千枝子も期待を裏切られた淋しさがあつたらう。露田も、がつかりして、重心を失つた感じだ。そんなら、とばくはくな結果では、一日も一時も我慢がならなかつた。愛し切らうか、憎み切らうか、

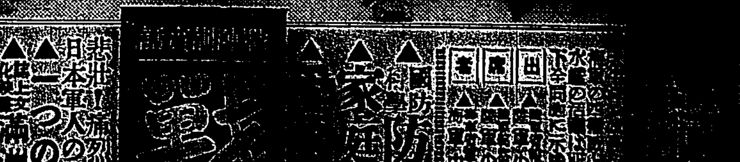
國防國家建設の礎
今や國防國家建設の礎として最高度の貯蓄を必要として居ります
我社の保險は確實、有利、安全さに於てピタリと此要求に合致する眞に理想的國防貯蓄であります。
理想の國防貯蓄　徴兵保險　出世保險
富國徴兵
東京 日比谷　社長 吉田義輝

タバコのみの
歯磨スモカ
好運は足許に落ちてゐず
磨くことによつて
先づ口許に開かるべし
定價十五錢
142

赤痢　疫痢の不安　初めて除かる
陸軍々醫中將　醫學博士　山本順市閣下推奬
本劑を赤痢・疫痢・下痢等に使用しその卓効眞に驚く可きものあり　敢て推奬す
本劑は…腸内細菌に對し獨自の殺菌力を有するアクリヂン誘導體を主體とせる新劑にして内服により直接腸の内腔に作用し積極的に病原菌を撲滅して迅速なる治病性能を發揮す！
劃期的奏効を誇る强力腸内殺菌劑！　醫學博士 角田耕男氏發見
赤痢・疫痢・一般下痢・食傷・腸カタルの治療と豫防
セダゾン　ツノダ
★藥價 20錠 ￥1.50
★全國著名藥店にあり　★總代理店 東京・大阪 株式會社 玉置商店

純國産精鋭器　タイガー計算器

タイガー計算器株式會社　臺灣出張所（臺北市本町一ノ一〇　電話2335・2888）
（本社工場　大阪市東成區…）

嘉なかだち
求職一件一回 壹圓貳拾錢
其他一回 壹圓七拾錢
題名倍額

自動車 講習生募集
團部長
外交員採用
小店員
看護人
生徒募集
女中入用
のせ京染
求學生向下宿
迷犬
中古ボイラ
シンガーミシン
更生は丸本
商品割引賣
賣家
電話商品券
女事務員募集

キング 五月號
▲朗らか國策部隊
空地利用！代用食其他蔬菜の栽培
隣組長の…
▲戰陣訓の歌　吉川英治
▲時局寫眞畫報
▲新體制明るい話朗らかな話
▲讀上國策回覽板
▲百選百笑・漫畫
▲名家隨筆十二篇
熱血戲曲 薩英戰爭
時局小說 街の戰友
銃後小說 國は興る
農村小說 大地の朝
原　竹田　敏彥　菊池　寛　藤澤　三郎
産業戰士に與ふ
早婚で子澤山で民族を榮せよ
農地法案早わかり
續く文化勳章の拜受者
一億の馬鈴薯の生き抜く母…お小夜…
タイ國…
米國に告ぐ
滿洲大森林開拓民
一つの道
家庭科學何故…
防空地上…
緊迫せる時局下　全同胞必讀の座談會
わが國…
戰場…